

第61回 日本PTA全国研究大会 みえ大会

参加報告書

富士市PTA連絡協議会

母親委員長 石川 裕子

8月23日～24日、三重県に全国から約8,000人のPTA会員が集まり
第61回日本PTA全国研究大会 みえ大会が開催されました。

1日目は三重県内11会場に分かれて分科会が、2日目は伊勢市において
全体会が開催されました。

『みえに集えばきっと見える・・・三重からの「わ」
～はじまりの地で語り育もう 子どもたちの未来』をスローガンに掲げ

『輪』・・・家庭・学校・地域が連携して手を取り合うPTA活動

『話』・・・子どもたちの夢について語り合うPTA活動

『和』・・・未来ある子どもたちの和の大切さを伝えるPTA活動

この3つをメインテーマとして研究討議が行われました。

1日目、四日市市文化会館で行われた【特別第2分科会】に参加いたしました。

《研究課題》

地域住民や民間企業と学校が協働した新たな「復興」

まず、『いま、社会教育に何が可能か～コミュニティデザインについて～』と題し
京都造形芸術大学教授 山崎 亮氏の基調講演がありました。
建物や公園という「ハード」の物理的なデザインを変える事よりも、その場所を利用し
自ら運営するコミュニティが人と人がつながり、継続して人が集まる状況に変えていく
というお話をされました。PTA活動にも共通するところです。
今以上に活気ある楽しい場所にしていきたいものです。

また、研究討議では震災復興の現状、学校(避難所)と地域とのつながり、
子どもたちの活動等実際に活動されている方のお話でした。

2日目は、伊勢市の三重県営サンアリーナで行われた【全体会】に参加いたしました。

記念講演は、ヴァイオリニストの川井郁子さんによる「こどもたちの未来へ」と
題した演奏と語りがありました。

ボーっとしてた川井さんを心配したお母様が担任の先生に相談したところ
「大丈夫、心配は要らない」とお答え頂き、それが川井さんの大きな心の支えに
なったお話、また出産を機に自分の子どもだけではなく、世界中すべてのこどもたちの
幸せを祈り、ユネスコ活動をされているお話等、素晴らしい演奏と素敵なお話に
心癒されるひと時でした。

最後に、今回初めて全国研究大会に参加しました。
色々な方とお話ができ、これからのPTA活動にとても元気をいただいた
有意義な二日間でした。

